

2026 年度 教職者参加ゼミナール

このゼミナールは、本校の最終学年の特別講義および演習を教職者と学生の共同研究の場とし、教会と神学教育の結びつきをいっそう緊密にする目的で行われている。

日本聖書神学校 教務部

〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-16
Tel: 03-3951-1102 Fax: 03-3951-3044
Email: kyomu@jbts.ac.jp



■ 講義期間 4月～10月

※各講義によって開講期間が異なりますのでご注意ください。

※休講等により授業回数・日時が変更になる場合、補講が実施される場合があります。

※通学が困難な方のため、各科目オンライン（Zoom）受講を受け入れます。

※申込みが定員数を超えた場合、選考の上決定します。

■ 場 所 本校校舎（JR 目白駅徒歩 10 分）

■ 参加資格 キリスト教教職者で、教授会で適当と認められた者

■ 参加費 1 科目 15,000 円

■ 申込〆切 3月15日（日）

■ 申 込 先 本校教務部宛に申込書（または必要事項）をメール等で送付してください。

旧約学ゼミ (定員：2名)

教職参加ゼミ

担当講師 小林祥人

授業日・時間 金曜 20:30 ~ 22:00

4月10日、4月17日、4月24日、5月1日、5月8日、5月15日、5月22日、5月29日、6月5日、6月12日、6月19日、6月26日、7月3日、7月10日、9月18日、9月25日、10月2日、10月9日、10月16日、10月23日の20回

講義概要

旧約の思想を学んでいきます。旧約聖書の神がどのような神であったか、人々はその神とどのように向き合ったか、また、示された律法（＝神の教え）がどのようなであったかを探ります。発表は全員で担います。また、それとは別に旧約学関係で卒業論文を作成中の神学生には、それについてのご発表をお願いするかもしれません。

授業内容

教科書

授業の中で紹介

参考書

授業日・時間 木曜 18:15～19:45

4月9日、4月16日、4月30日、5月7日、5月14日、*5月21日、5月28日、6月4日、6月11日、6月18日、6月25日、7月2日、7月9日、7月16日、9月17日、9月24日、10月1日、10月15日、10月22日、10月29日の20回※4月23日授業無し *5月21日短縮授業(18:15-19:30)

講義概要

「組織神学的に思考し、論述するとは何か」。それは、単に神学的用語を用いて記述することや、聖書箇所を多数引用することを意味するのではない。2年次に用いた「組織神学」講義ノートに基づけば、組織神学的記述とは、聖書に啓示された信仰内容を教会に仕えるために、理性的・体系的・批判的に整理し、今日の文脈において責任をもって語り得る形で提示する営みであると言える。本講義は、そのような組織神学的作業を、理論として理解するにとどまらず、実際に遂行するための演習の場とすることを目的とする。受講者は、それぞれが関心をもつ主題、あるいは卒業論文で取り組んでいるテーマを取り上げ、組織神学的思考の諸段階に即して検討を進めていく。授業期間中、各受講者には原則として2回の発表が求められる。受講者各自による発題を中心に、卒業論文との関連を意識しつつ、発表と討論を行う。これに先立ち、担当講師が実例として、前半に数回の講義を行う。そこでは、キリスト教信仰に固有の神理解である「三位一体」を主題として取り上げ、20世紀後半以降、再考と再構築が進められてきた現代三位一体神学が提起してきた諸問題を概観する。本授業は全員参加型の討議形式であるため、担当回以外においても必ずノートを作成し、フィードバックおよび討論に積極的に参加することが求められる。

【達成目標】

履修者は「組織神学」および「キリスト教教理史」の履修を通して身につけたキリスト教信仰に関する基礎的理解を土台として、より具体的に、キリスト教信仰全体を貫く神学的思考内容を把握する力を養うことが期待される。とりわけ、卒業論文において取り組む主題や教義が、教会にとっていかに恵み豊かで意味深いものであるのかを、神学的省察を通して主体的に体得することを目指す。

授業内容

1. オリエンテーション 講義の概観とイントロダクション
- 2 回～? 回 講師による以下の作業過程に留意しながら「三位一体」に関する講義
 - ・ 主題（教理）に関する聖書全体にわたる関連資料の収集と検討（語彙・文脈・用法）
 - ・ 多様な聖書の証言を教理的主題に即して統合し、統一性・整合性を探る
 - ・ 取り上げる主題（教理）が「何を意味しているのか」を概観的に明確化する
 - ・ 教会史の中に自らの理解を一つける
 - ・ 文化的条件づけを自覚し、主題（教理）の本質を識別する
 - ・ 聖書以外の知を批判的に用いる
 - ・ 今日の文脈において主題（教理）を語り直す
- ? 回～20 回 学生による発題（卒論との関連、または指定・選択テキストを用いて）

教科書

参考書

- ・ 2年生次「組織神学」授業ノート
- ・ 3年生次の「キリスト教教理史」授業ノート
- ・ The Forgotten Trinity: The Bcc Study Commission on Trinitarian Doctrine Today – Report, Study Guide, and a Selection of Papers, The British Council of Churches, 1989
- ・ Colin E. Gunton, The Promise of Trinitarian Theology, 2nd edition, T&T Clark, Edinburgh, 1997
- ・ コリン・E・ガントン著、柳田洋夫訳、『キリスト教信仰：キリスト教教理入門』、教文館、2024年
- ・ アリスター・E・マクグラス編著、古屋安雄監訳『キリスト教神学資料集 上下』、キリスト新聞社、2007年、2013年

授業日・時間 水曜 18:15～19:45

4月8日、4月15日、4月22日、5月13日、*5月20日、5月27日、6月3日、6月10日、
6月17日、6月24日、7月1日、7月8日、7月15日、7月22日、9月30日、10月7日、10月14日、
10月21日、10月28日、11月4日の20回 ※9月16日授業無し *5月20日短縮授業(18:15-19:30)

講義概要

キリスト教宣教の本質的意味については伝統的理解が継承されて来たが、「宣教の解釈」については各時代の影響を受けて多様性を極めていた。4年生を対象とした授業であるため、宣教の基本的意味に触れながらも近現代における宣教の新しい展開(特にエキュメニカルな視点)に重点を置きつつ、キリスト教のみならず他宗教との「対話」を目指した今日的宣教の在り方を模索する。学生による発表の機会を持ち討議する。

授業内容

- 授業1 第1部：講義概要の説明・宣教の伝統的意味1
- 授業2 宣教の伝統的意味2
- 授業3 宣教の伝統的意味3
- 授業4 宣教の伝統的意味4
- 授業5 宣教の今日的意味1(エキュメニカルな視点から)
- 授業6 宣教の今日的意味2(エキュメニカルな視点から)
- 授業7 宣教の今日的意味3(エキュメニカルな視点から)
- 授業8 宣教の今日的意味4(エキュメニカルな視点から)
- 授業9 今日における宣教1
- 授業10 今日における宣教2(発表概要の説明)
- 授業11 エキュメニカルと福音派の間1(宣教の目指す道)
- 授業12 エキュメニカルと福音派の間2(宣教の目指す道)
- 授業13 第1部：結び・第2部：講義概要の説明
- 授業14 発表と討議1(他宗教との対話を目指して)
- 授業15 発表と討議2(他宗教との対話を目指して)
- 授業16 発表と討議3(他宗教との対話を目指して)
- 授業17 エキュメニカルな宣教実践に向けて1(発表者意見の集計・討議)
- 授業18 現代の宣教と伝道1(エキュメニカルな宣教について討議)
- 授業19 現代の宣教と伝道2(エキュメニカルな宣教について討議)
- 授業20 振り返り

教科書

WCC 世界教会協議会編『宗教間の対話と共生のために エキュメニカルな指針』(NCC 宗教研究所双書) 新教出版社、2006年、1,000円(税別)

参考書

- ①石田学、松田和憲、鈴木脩平、濱野道雄『宣教ってなんだ?』キリスト新聞社、2012年、1,680円(税込)
- ②WCC 世界宣教・伝道委員会編『現代の宣教と伝道』(教会と宣教双書16)(翻訳)新教出版社、1991年2月5日、1,600円(税込)
- ③ジョン・R・ヒネルズ編『世界宗教事典』(翻訳)青土社、1991年2月10日、4,900円(税込)
- ④V.ファベリア、R.S.スギルタラージャ編『〈第三世界〉神学事典』(翻訳)日本キリスト教団出版局、2007年2月25日、5,600円(税別)
- ⑤デイビッド・J・ボッシュ『宣教のパラダイム転換下』(翻訳)新教出版社、1999年11月9日、7,875円(税込)

講義を進める中で順次参考文献を紹介する。

2026 年度 日本聖書神学校 教職者参加ゼミナール申し込み書

申込日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

フリガナ

名前

住所

電話

メール

教会

出身神学校

希望受講科目

受講方法

対面 ・ オンライン (Zoom)

どちらかに○

申込先 日本聖書神学校 教務部

〒 161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-16
Tel: 03-3951-1102 Fax: 03-3951-3044
Email: kyomu@jbts.ac.jp

※メールでの申込の場合、メール本文に各事項を記載していただいてもさしつかえありません。